

しあわせになるために生まれてきたんだから

校長 武井 正明

先週の金曜日は1年生と3年生で生と性の思春期講演会が行われた。

今でも思い出す。29年前、4月2日（実際は3月26日だった）出産予定を控えた今頃の季節、妻の胎内に出血が見られ、青くなって病院に駆け込んだ時のことを。

私はとにかく「お願いします、お願いします」と神様に祈ることしかできなかった。

1回や2回ではなかった。何度も肝を冷やした。わかっていたつもりだが、子どもが生まれるというのは、こんなにも大変なのかと思った。

そして、やっと無事生まれてきてくれた我が子を、看護師さんから受け取った時の、想像以上の重さに驚いた。そしてもし今、自分の手が滑ってこの命を落としてしまったら、この子の命は自分の手中にあると思うと、途端に怖くなり、すぐ看護師さんに娘を渡した。一気に、親としての責任の重さが押し掛かってきた瞬間だった。



私たちは、かくも長く険しい道程を経て、ようやくこの世に生まれてきた。

命というものは、カネでは買えない。生まれてきてくれて、ありがとう。

だから吉中の女子生徒に強く言いたい。

軽々しく自分を安売りしてはダメだ。付き合う相手は、慎重によく考えて。一瞬の思いつきで踏み出したら、後戻りできなくなる時がある。後悔しても遅い。そしてあなたの身体は、いつか生命を身籠る可能性が高いのだ。決して粗末に扱ってはいけない。中学生の今のうちから、常に心身ともに健康でいるよう努めることだ。

吉中の男子生徒に強く言いたい。

相手を大切にするとということが、どういうことか。それをよく考えることだ。お互いの良さや魅力を知るのは、時間をかけて、少しずつ前に進めていくのがいい。相手を大切にするためにはまず、自分が相手を守れる強さを身に付ける必要がある。自分への厳しさと、人に優しくなれる寛容さをもつことだ。

日々磨き、励みなさい。そんな君の目の前に、きっと相応しい人が現れる…。

特に卒業していく三年生の皆さんへ。

今、この時期にこういう話を聴くということは、君たちが聴くべき時期だからです。三年生の皆さんに、私はひたすら、いい人生を歩んでもらいたい、しあわせになってもらいたいと願ってやまない。

君たちは、しあわせになるために生まれてきたんだから…。